

## (2) 機能軸（ライン）の設定

幹線道路および鉄道を主体とした機能軸(ライン)を次のように設定します。

区分	位置づけ	役割
広域交流ライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>山陽自動車道、国道2号、国道250号および国道373号、ならびにJR山陽本線およびJR赤穂線を京阪神都市圏をはじめ全国とつなげる広域交流ラインと位置づけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域的なアクセス機能と通勤・通学などの市民の日常生活を支える役割を果たします。</li> <li>山陽自動車道と国道は、災害時の緊急輸送路の役割を果たします。</li> </ul>
産業交流ライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>山陽自動車道赤穂ICから都市計画道路新田坂越線を直結することによって産業交流ラインと位置づけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤穂港から「産業エリア」、山陽自動車道赤穂ICまでの沿線において、産業の交流と活性化を促進する役割を果たします。</li> </ul>
生活文化交流ライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要地方道赤穂佐伯線およびJR有年駅周辺地区と周世、高雄地区を結び海浜公園に至る高雄有年横尾線、周世尾崎線、大津地区と西有年地区の国道2号を結ぶ一般県道大津西有年線を生活文化交流ラインと位置づけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市域の南北生活圏を結び、生活と文化の交流を促進する役割を果たします。</li> </ul>
観光交流ライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要地方道坂越御崎加里屋線および県道壺根坂越線を観光交流ラインと位置づけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東部「臨海景勝エリア」の瀬戸内沿岸地域における観光機能の活性化と交流を促進する役割を果たします。</li> </ul>
都市機能交流ライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤穂港から加里屋地区、JR播州赤穂駅を経て駅北地区に至る幹線道路を都市機能交流ラインと位置づけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「都市機能エリア」を縦断し、都市活動の活性化を促進する役割を果たします。</li> <li>市民および観光客に親しまれる、本市のシンボルロードとしての役割を果たします。</li> <li>赤穂港との有機的な連携を図る役割を果たします。</li> </ul>